

動物実験計画書

年 月 日

東京科学大学長 殿

新

規

研究課題名	※学生実験（授業）の場合は課題名に続き「（授業名：○○○）」を記入する。						
研究目的	「ライフサイエンス研究に係る資格講習会」を受講していないと実験実施はできません。						
動物実験責任者 ※動物実験責任者＝ 動物実験実施者である	フリガナ	所属部局名		職名	基礎研究 ID		
	氏名 e-mail	○○学院 連絡先（内線）：			No. _____		
動物実験実施者 (括弧内にフリガナ)	()	連絡先（内線）：			No. _____		
	@						
動物実験実施者 (括弧内にフリガナ)	※人数が多い場合は、氏名欄に「別紙にて添付」と記載し、実施者すべての名前、所属、連絡先、職名（学生は学年を記入）、基礎研究 ID、を記載した名簿を添付する。 ※学生実験（実習）の受講者は、氏名欄に「別紙にて受講者名簿を添付」と記載し、名簿を添付する。						
	承認日を1年度目として、 最長4年度目の6月末日までとなります。						
実験実施期間	承認後 ～ 年 月 末日						
飼養保管施設及び 実験室	飼養保管施設	未承認の場合は、様式5 飼養保管施設申請書も併せて提出してください			実験室	未承認の場合は、様式6 実験室申請書も併せて提出してください	
使用動物 ※原則として異なる動物 種を1つの実験用紙書 に記載することは 認められません	動物種	系 統	性 別	匹 数	微生物学的 品質	入手先(導入機関名)	備 考
研究計画と方法	研究概要（研究計画と方法について、その概要を記入する。） 研究計画と方法について、簡潔に記入してください。						
	実験方法（動物に加える処置、使用匹数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。）						
	この欄は動物に加える処置を中心に詳細に記載してください。 特に「動物に加える処置」「使用匹数」「動物の苦痛軽減・排除の方法」は必須となります。						

特殊実験区分 (該当項目をすべて☑)	☐ 1. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: ☐ P1A ☐ P2A ☐ P3A ☐ 2. 微生物等を用いた実験 安全度分類: ☐ BSL1 ☐ BSL2 ☐ BSL3 ☐ 3. 放射性同位元素・放射線使用実験 ☐ 4. 化学発癌・重金属実験		
動物実験の種類	☐ 1. 試験・研究 ☐ 2. 教育・訓練 ☐ 3. その他	動物実験を 必要とする理由	☐ 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。 ☐ 2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。 ☐ 3. その他

想定される 苦痛の категория ※SCAWの苦痛分類に 基づく	☐ B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 ☐ C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 ☐ D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 ☐ E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えようと思われる実験。
--	--

動物の苦痛軽減、 排除の方法	☐ 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 ☐ 2. 動物の苦痛軽減、排除の方法
-------------------	--

安楽死の方法 (該当項目をすべて☐)	☐ 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 ☐ 2. 動物の苦痛軽減、排除の方法
-----------------------	--

動物死体の処理方法	☐ 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 ☐ 2. 動物の苦痛軽減、排除の方法
-----------	--

・麻薬使用について
麻薬を使用する場合は、都道府県知事から麻薬研究者の免許を受けなければなりません。
本実験計画が承認した後、行政へ必要な手続きをしていただき、免許証番号を事務局へご連絡ください。

・向精神薬使用について
向精神薬を使用する場合は、使用・保管する建物・部屋を管理する部局の向精神薬試験研究施設設置者登録が必要です。詳細については各部局事務にお問合せください。

・遺伝子組み換え実験、研究用微生物等を用いた実験、人を対象とする研究について
これらについては各委員会の承認が必要です。

→許可済みの場合、1.を選択し、許可番号をご記入ください。

→申請手続き中または申請予定の場合、2.を選択し、受付番号または研究課題名を記載してください。

<参 考 事 項>※以下、該当する場合は、該当する番号を記入ください。該当がない場合は“☑該当なし”としてください。

麻薬使用について	☐ 1. 動物実験責任者が麻薬研究者免許未取得、又は取得予定。 ☐ 2. 動物実験責任者が麻薬研究者免許取得済み。(麻薬研究者免許番号:)
向精神薬使用 について	☐ 1. 向精神薬試験研究施設設置者登録済み。使用・保管する建物・部屋についても申請済み。 (設置者登録証番号: 使用・保管する建物・部屋の名称:) ☐ 2. 向精神薬試験研究施設設置者登録の新規又は変更申請予定。 (設置者登録証番号: 使用・保管する建物・部屋の名称:) ※新規登録申請の場合は登録証番号記入欄に「新規登録予定」と記載すること。
遺伝子組換え 実験について	☐ 1. 遺伝子組換え生物等実験等安全管理委員会で許可済み。(許可番号:) ☐ 2. 遺伝子組換え生物等実験等安全管理委員会で申請手続き中、又は申請予定。 (受付番号:)
微生物等 を用いた実験 について (本学の指針で BSL2以上の微生物 等を取扱う場合)	☐ 1. 微生物等安全管理委員会で許可済み。(許可番号:) ☐ 2. 微生物等安全管理委員会で申請手続き中、又は申請予定。 (受付番号:)
人を対象とする研究 について	☐ 1. 人を対象とする研究倫理審査委員会で許可済み。(許可番号:) ☐ 2. 人を対象とする研究倫理審査委員会で申請手続き中、又は申請予定。 (受付番号:)
	☐ 該当なし

その他必要事項	
---------	--

委員会記入欄	本審査終了日: 年 月 日
	予備審査修正意見等 予備審査意見および本審査意見はここに記載されます。 本審査修正意見等
	審査結果 ☐ 本実験計画は、国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則等に適合する。 (条件等 ☐ 遺伝子組換え生物等実験等安全管理委員会の承認後、実験を開始すること。 ☐ 微生物等安全管理委員会の承認後、実験を開始すること。 ☐ 人を対象とする研究倫理審査委員会の承認後、実験を開始すること。 ☐ 麻薬研究者免許取得後、実験を開始すること。 ☐ 向精神薬試験研究施設設置者登録及び使用・保管する建物・部屋の申請後、実験を開始すること。 ☐ 本実験計画は、国立大学法人東京科学大学動物実験等管理規則等に適合しない。
学長承認欄	承認日: 年 月 日
	本実験計画を承認します。 承認番号: 第 号 東京科学大学長 (公印省略)